

栃木精工株式会社

栃木県栃木市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

医療機器・精密パイプ・軟質磁性材の3つの柱から、豊かな未来と地域を繋げる「創業66年の管屋」

- 地域資源を活かした事業展開を行うとともに、雇用の創出にも貢献している
- 事業承継を機に社内の意識改革を行い、業績の改善を実現している
- 地域雇用・働きやすい職場の創出により、多様な人材の活躍を実現している

企業基本情報

所在地	栃木県栃木市平柳町 2-1-5
電話/FAX	0282-27-1133/0282-27-1137
URL	http://www.tochigiseiko.co.jp/index.html
代表者	代表取締役社長 川嶋 大樹
設立	1952年
資本金	10,000万円
従業員数	212人



会社概要

医療機器事業及び鋼業管事業を主力とするメーカーで、内視鏡用構成部品や医療用注射針、医療用カテーテル、インクジェットプリンター用精密パイプ、金属やプラスチックなどの管状の製品や、センサー用のコアパーツを得意としている。これら全ての製品が「高度な生産技術に支えられた高品質な製品である」との評価を得ており、これからも安心・安全な職場環境での高品質・高性能な製品製造を目指す。



製造風景

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 地域の中核となるコネクターハブ企業として地域貢献

歯科用麻酔針は国内シェア約5割を占める。国内生産にこだわり、資材調達や外注加工のほとんどを栃木県内で行っている。域内から調達し、域外へ販売しており、地域経済への貢献を実現している。

また、人材や事業をいかに次世代へ引継ぐかを念頭に経営を行い、雇用確保にあえぐ企業も多い中で地元・栃木で働きたくなるような待遇を実現。地元での雇用を行うことで、地域活性化の役割を果たす。



近隣企業から調達した資材を社内で製品化した注射針

▶▶▶ 現社長の事業承継を機に意識改革

現社長は、7年前に就任し年齢も39歳と若い。就任時は業績も順調とは言えないなか、役職・年齢を超えた社員会議において「当社は何を作っているのか」「当社の強みと弱みは何か」など、原点に立ち返って徹底的に議論を交わし、社長と社員の間で認識を共有した。これにより会社一丸となり、得意分野を中心に新規受注を増やし、また、不採算となっていた事業を改善することで、今日の4年連続増収という業績に結び付けた。



定期的に行う改善会議

▶▶▶ 積極的な地域雇用と働きやすい職場づくり

新卒社員を毎年積極的に採用。特に地元出身の人材雇用に努めており、現在も9割強が県内出身者。インターンシップの開催や教育制度の充実化にも取り組んでいる。一方で今後は県外からの採用も検討し、さらなる技術力の強化を図る。また、女性が活躍できる職場づくりにも注力しており、管理職社員の16%が女性となっている。

その他、現在3棟ある工場を新工場1棟へ集約することで風通しの良い職場環境づくりと生産効率の向上を図る。



社内レクリエーションの様子